

第三回はちのへ演劇祭へのご支援をお願いいたします。

○ 協賛のお願い ○

「演劇のまち」と呼ばれていた 1980~1990 年代の演劇に対する“熱”を取り戻し、演劇で八戸を元気づけ、平成 24 年に第一回はちのへ演劇祭を実施しました。それまで演劇をやったことがない人から現役の劇団員まで、あらゆる立場や世代の人びとを巻き込んだ演劇祭を開催したことで、若手主体の劇団が誕生する契機を作り、演劇を休んでいた人たちが徐々に公演を行うなど、眠っていた八戸の演劇界に一石を投じることができました。

また、第二回では市内外の若手演劇人(団体)が参加し、演劇人同士による新たなネットワークの構築と“はっち”を中心とした若者が集う空間を創出することができました。

このように、演劇に対する機運が高まってきたことを受け、第三回ではプロの演出家を招聘して舞台を上演します。プロならではの演劇表現やエッセンスを八戸へもたらし、それが定着する土壌を作るために、全員参加型の演劇祭を目指します。

つきましては、趣旨をご理解頂き、協賛についてご支援くださいますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

第三回はちのへ演劇祭実行委員会 実行委員長 大黒 裕明

○第三回はちのへ演劇祭開催概要

日 時 平成 27 年 3 月 1 日 (日) ~ 8 日 (日) 全 10 ステージを予定 (開演時間は調整中)

場 所 八戸ポータルミュージアム はっち 2 階 シアター2

主 催 第三回はちのへ演劇祭実行委員会 (実行委員長 大黒裕明)

U R L <http://spaceben.com/8geki-info.html>

上演内容 劇団「柿喰う客」代表 中屋敷法仁氏によるオリジナル作品 ※プロフィールは裏面

○掲載印刷物 (予定)

ポスター : A2 片面カラー 100 枚程度 ※30 口以上のみ

チラシ : A4 両面カラー 20,000 枚程度 ※30 口以上のみ

パンフレット : A4 モノクロ 8 ページ 1,200 部程度 ※1 口以上全て

○協賛金 一口 3,000 円 (お名前だけの掲載とさせていただきます。)

ご協賛いただいた方には、招待券を 1 枚差し上げます。

お振込みの際は下記の口座をお願いいたします。

恐れ入りますが、お振込み料は振込者ご負担でお願い申し上げます。

青森銀行 根城支店 普通口座 3035427

はちのへ演劇祭実行委員会 副実行委員長 柏井容子

・お名前 ・ご住所〒

・ご連絡先 電話 - E-mail

・口数 口 (一口以上何口でも結構です)

・お支払い 現金 振込

◆お申し込み・お問い合わせ

第三回はちのへ演劇祭実行委員会 制作 蔦林 彩加

〒031-0081 八戸市柏崎 1-11-8

携帯 090-2274-3973 Tel. 0178-43-9876 Fax. 050-3588-8350

E-mail: owner@8geki.com

◎中屋敷法仁（なかやしきのりひと）プロフィール



演出家・劇作家・劇団「柿喰う客」代表。

1984年青森生まれ。高校在学中に発表した『贋作マクベス』にて、第49回全国高等学校演劇大会・最優秀創作脚本賞を受賞。2006年「柿喰う客」を劇団化し、以降、全ての作品の演出を手掛ける。オリジナル作品に加え、キャラメルボックスとのコラボレーション作品の演出や、日韓国際共同制作、こどもと観る演劇プロジェクト、オリジナルミュージカル、シェイクスピアの改作シリーズ“女体シェイクスピア”の創作など、その活動の幅は広がり続けている。

2012年にはパルコ・プロデュースに弱冠28歳で大抜擢され、柿喰う客「無差別」にて第57回岸田國土戯曲賞最終候補作にノミネートされる。